

【着任式・始業式】4月6日（水）

春の暖かな陽射しの中、令和4年度のはじまりである始業式が行われました。最高学年となった3年生、中学校ではじめて先輩となる2年生は、期待と不安が入り交じった様子で登校し、これから共に過ごす新クラスのメンバーの発表に心踊らせました。

今年度もコロナ感染症対策のため、距離を取りながら、厳かな雰囲気の中、着任式・始業式を行いました。今後も状況を見ながら様々な学習活動を少しずつ本来の形に戻していけたらと考えています。



<学級発表を見る生徒たち>



<担任発表の様子>

【入学式】4月7日（木）

新しく196名の新入生を迎え、入学式が行われました。感染症対策のため、体育館でのご参観と、別室からオンライン配信でのご参観に分けて行う形となりましたが、保護者の皆さまのご理解とご協力が無事開催することができたことに感謝いたします。

新入生の生徒たちには、これからの南陽中生の一員として、仲間と力を合わせて助け合いながら、共に頑張り、充実した中学校生活を送って欲しいと思います。

【授業参観】4月21日（木）

南陽中学校では3年ぶりとなる授業参観が行われ、担任の先生たちによる道徳の授業や学活が行われました。その後の学級懇談会や、部活動保護者会も行うことができ、保護者の皆さまに授業でのお子様の様子を見ていただいたり、直接会って話すことができたりしたことをうれしく思います。今後も、保護者の皆さまと協力しながらお子様の成長を見守っていききたいと思います。



<授業の取り組みの様子>

【戸田川緑地公園ボランティア】5月3日（火）～5月5日（木）



<受付を手伝う生徒たち>

5/3～5/5の三日間にわたり、戸田川緑地公園にて、「初夏の物語」というイベントが行われました。そこでは、野菜の収穫体験やウォークラリーなどの様々な催しがあり、今年度は南陽中学校から、100名近くの有志ボランティアの希望がありました。炎天下の中、一生懸命活動する生徒たちの姿が見られ、感心するとともに、これだけ多くの人数を受け入れてくださった、戸田川緑地のスタッフの方々にも感謝いたします。

【稲武野外学習】5月12日（木）、5月13日（金）

コロナ禍において一昨年、昨年と実施されていなかった稲武野外学習を、本年度は実施することができました。残念ながら、天候には恵まれませんでしたが、1日目の飯ごう炊さんでは、雨の中、班で協力して野菜を切ったり、火おこしに悪戦苦闘したりしながら、おいしいカレーを作ることができました。その日の夜のキャンプファイヤーでは、キャンプファイヤー実行委員が中心となって、火の儀式からはじまり、じゃんけん列車や選択ゲームなど、おおいに盛りあがることができました。最後には幻想的なファイヤーロードに見送られ、最高の思い出をつくることができました。

2日目は民芸教室があり、焼き杉やまゆ細工など、様々な体験をし、生徒たちは思い出の品を作りあげることができました。2日間を通して、部屋長をはじめ、食事係、備品係、美化係など、それぞれの仕事を一生懸命やってくれました。この2日間でできた仲間との絆や、成長したことを、今後の学校生活にいかして欲しいと思います。



<↑飯ごう炊さんの様子>



<↑キャンプファイヤーの様子>



<←民芸教室の様子>

<食事の準備の様子→>



【今年度の南陽中学校の学校教育目標「学校努力点」】

「未来試行」（みらいしこう）

— 生徒が主体的に自己実現を果たす学校を目指して—

「未来試行」とは生徒が将来の夢を実現するためにあらゆる方法を使って学び、努力することを意味します。同時に互いの学びや努力を認め合い、互いの将来の夢を尊重し合う中で生まれる学びと努力の触発、共有、感動も最大限に生かすということです。

本校は令和元年度より3年間、学校生活や授業の中で、生徒が「居心地がいいな」と感じられる学校運営を目指してきました。「学校には行きたい」と話す生徒が多いことから、この取り組みは一定の成果が得られてきたと考えます。しかし、その居心地の良さを生徒たちが主体的に作り上げていくまでには至っていないと考えます。

そこで、本年より生徒が学校を「未来試行」する場と設定し、生徒が主体的に自己実現を果たす学校を目指した学校運営を図りたいと考えます。中学校3年間の中で、生徒が自分の夢を見失うことなく学び努力し続ける。または、様々な失敗や挫折の中で、自分の新たな適性や可能性を見つけ再び新しい自分の夢に向かって学び努力し始める。そのように生徒たちが主体的に自己実現を果たす学校こそが「居心地がいいな」と心から実感できる学校ではないかと定義し、教育活動を推進していきたいと思います。

目標を達成するためには、保護者の皆様のご理解とご協力も必要です。ご家庭でもこのことについて考えていただくと幸いです。今年度もよろしくお願いいたします。